

平成30年度教育研究活動報告書			
氏名	高間沙織	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士(社会学)	職位	講師
専門分野	社会保障・社会政策		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	社会政策、基礎演習Ⅰ、社会保障、社会保障入門、専門演習Ⅰ・Ⅱ
大学院	社会保障特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ(3つまで)	
(1) 戦後日本における病院の福祉施設の利用に関する研究	
(2) 地域包括ケアにおける多職種・多組織連携の条件	
本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28(件数は追加可)	
H30 〈著書〉高間沙織(2019)「戦後日本における病院の福祉施設の利用」猪飼周平編『羅針盤としての政策史』勁草書房、pp.73-132 〈論文〉高間沙織(2019)「地域医師会事業の発展条件に関する一考察 尾道市医師会方式を事例として」『地域ケアリンク』第21巻第6号、pp.40-48、2019年6月、依頼あり 〈国際学会発表〉Saori Takama, “The Role of Local Medical Associations in Community-based Care”, The 15th East Asian Social Policy Network Annual Conference on Social Policy in Post-Growth East Asia, University of Bristol, UK, July 2018、査読あり	
H29 〈論文〉高間沙織(2018)「地域連携における医師会自治の機能 尾道市医師会方式を事例として」『地域ケアリンク』第20巻第3号、pp.98-102、2018年3月 〈書評〉高間沙織(2018)「書評 しかし、誰が、どのように分配してきたのか 同和政策・地域有力者・都市大阪」『保健医療社会学論集』第28巻、pp.89-90、2018年	
H28 〈著書〉高間沙織(2017)「戦後日本における病床供給の構造」公益信託松尾金蔵記念奨学基金編『明日へ翔ぶ一人文社会学への新視点-4』風間書房、pp.241-264 〈国際学会発表〉Saori Takama, “Role of Medical Practitioners in Integrated Community Care Systems: Onomichi Case Study”, UK-Japan Seminar on the Politics and Practices of ‘Low Fertility and Ageing Population’ in Post-War Japan, University of Manchester, UK, November 2016、招待あり 〈国際学会発表〉Saori Takama, “Conditions for Establishing an Integrated Community Care System: Onomichi Case Study”, Keio Young Scholars’ Workshop on the History of Medicine, Disease, and the Body 2016, Keio University, Tokyo, September 2016 〈国際学会発表〉高間沙織(2016)「地域包括ケアにおける医師会の役割—尾道市医師会方式を事例として」京阪奈社会学研究会、2016年10月、大阪	
H27以前の主な研究業績(件数は追加可)	
(1) 〈論文〉高間沙織「戦後日本における病床偏重の高齢者処遇—コミュニティケア発展の困難の観点から—」一橋大学博士学位取得論文、pp.1-207、2015年11月	
(2) 〈国際学会発表〉Saori Takama, “The Conditions for the Use of Hospitals as Nursing Homes in Postwar Japan”, The Nineteenth Asian Studies Conference Japan (ASCJ), Tokyo, June 2015、査読あり	
(3) 〈論文〉高間沙織「地域包括ケアシステムの存続と自治の機能 岩手県一関市国保藤沢病院を事例として」『大原社会問題研究所雑誌』No.675、pp.53-71、2015年1月、査読あり	
(4) 〈国内学会発表〉高間沙織「戦後日本における病床供給の構造—公私病院・福祉施設の比較から—」『日本計画行政学会第9回若手研究交流会』pp.55-58、2015年3月	
(5) 〈国内学会発表〉高間沙織「地域包括ケアシステムの存続と自治の機能 岩手県一関市藤沢病院を事例として」『保健医療社会学論集』第25巻、p.37、2014年、査読あり	
(6) 〈国内学会発表〉高間沙織「戦後日本における診療報酬制度の変遷と医師による病床所有」『日本医療・病院管理学会誌』Vol.50、p.248、2013年8月、査読あり	
学会、所属団体における活動(本年度を含む過去3年間の研究業績) H28・H29・H30	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
社会政策学会、日本保健医療社会学会、関東社会学会	

平成30年度教育研究活動報告書

氏名	高間沙織	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士(社会学)	職位	講師
専門分野	社会保障・社会政策		

学術表彰(本年度を含む過去3年間の研究業績)

優秀教員表彰(尾道市立大学)

IV 社会活動

1. 学外活動(本年度1年間の活動状況) (件数は追加可)

(1) 吉和地区住民の発行する「尾道しまなみ新聞」への寄稿

(2) 三成地区「三成はらぺこレストラン」について卒論研究を実施

(3) 埼玉県幸手市の地域包括ケア「幸手方式」の調査